

試合番号 : 112		試合会場 : 紫波町総合体育館				観客数 : 460	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:17		試合時間 : 02:17		主審 : 高橋 宏明	
副審 : 慈眼 雅啓		東レアローズ		2勝 2敗		堺プレイヤーズ	
通算		ポイント : 7		27 第1セット 25		通算	
2		17 第2セット 25		3		3勝 1敗	
13 第3セット 25		25 第4セット 23		6 第5セット 15		ポイント : 8	
監督コメント		岩手県紫波町にて、2日間ホームゲームをさせていただきありがとうございました。2日間共に勝利を届けることが出来なくて申し訳ありませんでした。チームとして精度の低いプレーが目立ちました。この部分を改善していかなければ、上位には残れないので、修正していきたいと思っております。2日間、たくさんの応援ありがとうございました。		監督コメント		本日も熱い応援、ありがとうございました。相手の東レアローズの強いサーブに苦しむ場面もありましたが、チーム一丸となって勝ち切る事が出来たのは収穫でした。この2連勝を足掛かりに、さらに勢いを付けて来週のホームゲームも戦ってまいります。	
要約レポート		東レアローズのホームゲーム岩手紫波大会2日目。第1セット、お互いにサイド攻撃がささ、終盤まで接戦となるも最後はバダルのサービスエースで東し先取した。第2セット、堺プレイヤーズが高野のサービスエースなどでリードを広げ、最後も高野のバックアタックで第2セットを奪い返す。第3セット、堺は深津の巧みなトスワークからアタッカー陣が得点を重ねる。中盤以降も高野のサービスエースなど4連続得点で一気に引き離し25-13でセットを連取する。第4セット、後がない東しは堺の粘りに苦しみながらも最後はバダルのスパイク、幸のブロックでフルセットへ持ち込む。第5セット、ホームゲームで勝利を掴みたい東しは堺、深津のサーブで崩され、リードを許しコートチェンジ。最後はパーソンが決め、昨日に引き続き勝利を決めた。					

試合番号 : 113		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 900	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:06		試合時間 : 02:06		主審 : 戸川 太輔	
副審 : 沢田 元		ウルフドッグス名古屋		2勝 1敗		大分三好ヴァイセアドラー	
通算		ポイント : 5		25 第1セット 21		通算	
3		16 第2セット 25		1		1勝 2敗	
25 第3セット 22		25 第4セット 20		第5セット		ポイント : 3	
監督コメント		本日の試合は相手のサーブに苦しめられる場面もありましたが、それを乗り越える事が出来たことを誇りに思います。チームの課題を修正し、明日の試合に向けて良いパフォーマンスが出来るように、これからの時間を使って良い準備をしていきます。今シーズン初のホームゲームにかけつけて頂いたファンの皆様、ありがとうございました。明日もここ豊田合成記念体育館"エントリオ"にて、白熱した試合をお見せ出来るように頑張ります。共に戦いましょう。Unite as One!!		監督コメント		残念ながら私たちは負けました。その理由として、ウルフドッグス名古屋の攻撃に対してブロックとレシーブの関係がうまく機能していませんでした。またミドルブロッカーの攻撃が機能していなかったために、アウトサイドヒッターの負担が大きくなりました。明日は積極的にプレーし、チーム全員で最善を尽くします。ありがとうございました。	
要約レポート		大分三好ヴァイセアドラーとウルフドッグス名古屋の一戦は、WD名古屋が今シーズン初のホームゲーム開幕戦で勝利した。第1セット、お互いに一点を取り合う競った展開で進む。WD名古屋・前田の丁寧なトスから、傳田、高梨、山崎とアタックを決める。対する大分三好も、バグナスが鋭いアタックを決めると、途中出場の大分三好の攻撃も決まり、終盤まで粘りをみせたが、WD名古屋がリードを守り、最後は山崎のアタックが決まり先取した。第2セット、大分三好がスタートダッシュを切る。古賀のフェイントやアタックが面白いように決まると、終盤には山田が効果的なサーブを打ち出し、さらに最後はサービスエースを決めて、大分三好がこのセットを奪い返した。第3セット、どちらも負けられないセットとなり、WD名古屋は山崎のアタックが連続で決まると、クレクのアタックも決まる。対する大分三好は、リベロ備の好レシーブからの古賀のアタックなど粘りを見せたが、流れが変わりそうな場面でもWD名古屋の傳田や伏見がしっかりとブロックを決め、WD名古屋がこのセットを奪う。第4セット、今シーズンよりWD名古屋のキャプテンを務めるクレクが好調のままスタートすると、難しいトスを決め切る高梨など勢いは止まらず、最後は伏見がブロックを決め勝利した。大分三好は、相手手が繋ぐボールをしっかりと取りきるなど、攻守ともに良い場面が多くあったが、WD名古屋の勢いを止められなかった。					

試合番号 : 114		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,327	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:26		試合時間 : 01:26		主審 : 澤 達大	
副審 : 西中野 健		パナソニックパンサーズ		2勝 1敗		VC長野トライデンツ	
通算		ポイント : 7		25 第1セット 23		通算	
3		25 第2セット 21		0		0勝 3敗	
25 第3セット 15		第4セット		第5セット		ポイント : 0	
監督コメント		今日も非常に大事な試合でした。VC長野はいいプレーをしており、サーブが私たちより強かったですが、私たちのブロックとディフェンスは良かったです。明日の方がタフな試合になると思います。また、中村選手が活躍したのもうれしかったです。本日も応援ありがとうございました。		監督コメント		このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいているすべての関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。初のアウェー戦を迎え準備をして臨みましたが、力及ばず敗戦となりました。今日出た課題を改善し、明日の試合に臨みます。引き続きの応援をよろしくお願いたします。	
要約レポート		VC長野トライデンツを迎えてのパナソニックパンサーズのホームゲーム。第1セット、パナソニックはクビアク、大竹のスパイクでリードをするが、VC長野のリヴァン、池田(幸)の攻撃で追いつき接戦となるが、パナソニック仲本がスパイクを決めセットを勝利した。第2セット、VC長野・池田(幸)、リヴァンがスパイクを決めるがパナソニックも大竹のスパイク、山内のブロックが要所で決まる。一進一退の攻防となったが終盤には大竹、仲本がスパイクを決めセットを連取した。第3セット、パナソニックは大竹、クビアクのスパイクで3連続得点をしセットを優位に進める。一方、VC長野も戸寄の攻撃などで3連続得点をし反撃をするが、クビアクのスパイク、深津のサーブなどでパナソニックが5連続得点をする。最後は大竹が連続でスパイクを決め、パナソニックが勝利した。					

試合番号 : 115		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,369	
開始時間 : 17:00		終了時間 : 18:22		試合時間 : 01:22		主審 : 山本 和良	
副審 : 富田 博一		ジェイテクトSTINGS		2勝 1敗		FC東京	
通算		ポイント : 5		25 第1セット 17		通算	
3		25 第2セット 19		0		0勝 2敗	
25 第3セット 19		第4セット		第5セット		ポイント : 3	
監督コメント		先週に比べてサイドアウト率が上がりましたが、これに満足せず調子を上げなければなりません。いつも応援ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。		監督コメント		今日のゲームは良い場面を数多く作ることができましたが、それ以上にジェイテクトが素晴らしいバレーボールをして、我々に連敗を見せつける形となりました。オフフェンスとブロック、ディフェンスの修正が必要ですので、気持ちを切り替えて明日に備えます。本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート		2試合を終えて1勝1敗のジェイテクトSTINGSと、初勝利を手にしたいFC東京との一戦は、セットカウント3-0でジェイテクトが勝利した。第1セット、序盤から波に乗るジェイテクトがフェリペ、藤中、宮浦のスパイクで得点を積み重ね奪う。第2セットに入ると開幕戦で脅威の粘りを見せたFC東京が、エスペホ、クヴァーレンの活躍で終盤まで1点を争う好ゲームを展開する。先に均衡を抜け出したのはジェイテクト・フェリペのサービスエースからだった。最後は福山がスパイクを決めてセットを連取する。第3セット、ジェイテクトは流れを掴んだまま中盤までリードを奪う。セッター久保山は見事なトスワークを見せ、FC東京のブロック陣に的を絞らせず、徐々に得点差を広げる。対するFC東京は、古賀の好レシーブから柳町のスパイクで追いつくが、ジェイテクト村山がブロックを決めると一気に攻め立て、郡のスパイクでFC東京を突き放した。					

試合番号 : 116		試合会場 : 維新大晃アリーナ (維新百年記念公園スポーツ文化センター)				観客数 : 1,100				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:10		試合時間 : 02:10		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 弘中 秀治		
JTサンダーズ広島		通算 1勝 2敗 ポイント : 4		22 第1セット 25		サントリーサンバーズ		通算 3勝 0敗 ポイント : 7		
監督コメント	今季初のホームゲームで勝利をお届けすることができなくて残念です。選手は良いパフォーマンスを見せてくれましたが、サントリーの選手がそれ以上のプレーをしていました。我々は挑戦者！最後まで諦めず攻めていきます。たくさんのご声援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願します。			1	22 第2セット 25		3	本日もサンバーズへのご声援をありがとうございました。スコアは3-1という結果でしたが、内容はとてもハードなものでした。連勝はできていますが、修正すべき点を改善していかなければ今後も苦しい試合内容が続くと思いますので、明日の試合に向け、しっかりと準備していきたく思います。長いシーズンの中、変化を恐れずチャレンジしていけるチームでありたいです。この様な状況の中、サンバーズに熱いご声援をくださるファンの皆様、本当にありがとうございました。今後もサンバーズは進化していきますので引き続きよろしくお願します。		
					25 第3セット 23					
					28 第4セット 30					
					第5セット					
					監督コメント					
要約レポート										
開幕から2連勝と勢いに乗っているサントリーサンバーズとホームゲームで初勝利を目指すJTサンダーズ広島の対戦は、セットカウント3-1でサントリーが勝利した。第1セット序盤、両チーム一進一退の攻防となったが、中盤以降はサントリーのサーブが効果的に決まり、最後はサントリー小野のクイックでセットを先取した。第2セット、JT広島は、新井、坂下のクロススパイクで好発進した。サントリーは柳田、アラインの強烈なスパイクで流れをつかみ、セットを先取した。第3セット、JT広島はエドガーのスパイクやサービスエースでリードを広げた。サントリーも大宅のサーブから一時は同点に追いつくが、最後はJT広島が新井、エドガーのスパイクでセットを取り返した。第4セット、序盤は両チーム譲らずに手に汗握る展開が続いた。中盤、JT広島がエドガーのスパイクでサントリーを引き離す。しかし、サントリーも強いサーブからチャンスを作りデュースに持ち込んだ。最後はサントリー・アラインのサーブと柳田のスパイクで勝利を収めた。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第2セット		第3セット	
監督コメント				第4セット		監督コメント			
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第2セット		第3セット	
監督コメント				第4セット		監督コメント			
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第2セット		第3セット	
監督コメント				第4セット		監督コメント			
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
				第5セット					
要約レポート									